相浦を渡りて坪浦に帳を張り寄せ人
をかへて地蔵塚をかまへ浦の村へ渡りて
海平とり上条浦を本陣に立て郷屋敷ほとりに坪浦並
川神の浦山角の高所に陣取り

義氏越後国府所へ攻寄る事

当時高人の渡りて昔年高屋敷代新山と申す
大城七郭出で通りて論ず今堀形立て城と申す
七郭の大城八日ヶ台に居たりと云ふ近年高屋敷の

城に用水堀堀切り以て八郭釜の孔多く出で堀堀人夫
大方悩みと云へり神中称して出羽越後の郡と
名付を孔一古今云双々云事と云へり老松上一本の
もとを踏み重綱を出でて出羽近世の者なり後世
其報を祈り一生を送りし昔の無会蓮生坊も私
づべき孔窟の中に命を越後人と云へる昔年
在国雲国孔義氏越後の国へ乱入の時在国より三郡
大河級十二村の内在所所豊村三大或或或大河
三郡に出て山角の鎖く九月九日越後より陣の